

あ と が き

平成23年3月11日に発生した東日本大震災により、多くの尊い命が失われました。亡くなられた方々に心から哀悼の意を表します。

私たちの住む日本は、自然的条件から地震だけでなく台風・豪雨など災害の多い国です。いわば、いつでも、どこでも誰でも災害にあう危険があります。地震や台風・豪雨などの自然現象は、人間の力では食い止めることができませんが、それらによる災害は、私たちの日々の努力や、備えによって減らすことができます。私たち国民一人ひとりが過去の災害を教訓としつつ、将来発生する災害に備えることが大切です。

この体験談集は、皆様方に災害について考えるきっかけとなることを期待して、政府の中央防災会議「災害教訓の継承に関する専門調査会」で取りまとめた25の報告書と、専門各委員から新たに提供された資料の中から、災害時の体験談を分かりやすく取りまとめたものです。

この体験集をきっかけに災害について学んでいただき、平常から、「自分でできること」、「家族でできること」、「ご近所で力をあわせてできること」について考え、いつ来るかわからない災害に備えていただきたいと思います。

なお、「災害教訓の継承に関する専門調査会」で取りまとめた25の報告書、4編にわたる小冊子「災害史に学ぶ」〈海溝型地震・津波編〉〈内陸直下型地震〉〈火山編〉〈風水害・火災編〉は、内閣府ホームページでご覧いただけます。

平成24年3月

伊藤 和明

北原 糸子

清水 祥彦

平野 啓子

元「災害教訓の継承に関する専門調査会」